



選挙啓発広報

おうめしろばら

第4号 平成21年3月

発行 青梅市選挙管理委員会 青梅市明るい選挙推進協議会

青梅市の男女有権者数 56,633人 55,955人 112,588人 (平成20年12月2日現在)

平成20・21年度青梅市明るい選挙推進委員・協議会委員・話しあい指導員

Table listing election promotion committee members and discussion guides by district (青梅, 長淵, 大門, 梅郷, 沢井, 小曾木).

明るい選挙推進のために

青梅市では、地域等から推薦された「明るい選挙推進委員」、「明るい選挙推進協議会委員」、「白ばら会員」、「話しあい指導員」、合わせて180名が、明るい選挙推進のために活動をしています。

選挙時には、投票日のお知らせをするポスターを掲示したり、街頭で投票参加を呼びかけたり、また、投票日当日や期日前投票所における「投票立会人」として、公正な選挙が執行されるよう協力しています。

日ごろは、市民の皆さんを日ごろは、市民の皆さんを... 皆さまには、明るい選挙推進協議会の活動について、ご理解とご協力をお願いします。



平成20年度明るい選挙推進協議会活動状況

Table of activities from the 20th fiscal year, including dates and descriptions of events like committee meetings, regional campaigns, and seminars.

永年功労者表彰



平成21年1月23日、文京シビックホールにおいて、平成20年度東京都明るい選挙推進大会が開催され、青梅市からは選挙管理委員2名および推進委員15名が参加しました。...



河辺駅前での啓発活動

青梅市の選挙に関連する数字
平成19年7月29日執行参議院議員選挙

立候補者数 (東京都選出)	20人
(比例代表選出)	11政党 159人
期日前投票所数	1か所
期日前投票管理者	16人
期日前投票立会人	32人
投票所数	35か所
投票管理者	35人
投票立会人	105人
投票事務従事者	289人
当日有権者数 (東京都選出)	男 56,423人 女 55,761人 計 112,184人
投票者数 (東京都選出)	男 32,806人 女 31,792人 計 64,598人
投票率 (東京都選出)	男 58.14% 女 57.01% 計 57.58%
期日前投票者数 (東京都選出)	男 5,862人 女 6,030人 計 11,892人
不在者投票者数 (東京都選出)	男 336人 女 607人 計 943人
使用した投票箱の数	74個
有権者の少ない投票所	121人
有権者の多い投票所	7,874人
ポスター掲示場	232か所
開票所数	1か所
開票管理者	1人
開票立会人 (東京都選出)	14人 (9人)
(比例代表選出)	(5人)
開票事務従事者	336人
選挙執行経費	48,643,971円

《啓発》

選挙時には、青梅市と
明るい選挙推進協議会が
協力して、棄権防止・投票
参加を呼びかける活動
をします。

出口調査とは！！

選挙結果を事前に予測するため、投票
所の出口（敷地外）で投票行動を尋ねる
調査のこと。多くのテレビ局、新聞社
などが行っています。



開票管理者って？

開票における最高責任者。投票の
有効、無効を正しく決定し、開票事務が
公正かつ迅速に処理されているか、会場
内の秩序が保たれているかを管理します。

開票立会人って？

開票が公正に行われるよう監視します。
具体的には、送られてきた投票箱や鍵に
異状がないかどうか確認したり、投票の
効力を点検し、必要があるときは意見を
述べたりします。

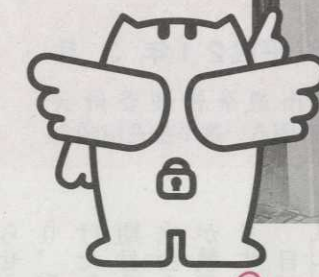


準備の終わった開票所（総合体育館）

知ってる？選挙のこと！



選挙のことって、知っているよ
うで知らないことがたくさんあり
ますよね。ちょっとおさらいして
みましょう。



期日前投票所（教育センター）

期日前投票って？

投票日に都合がつかず、投票できな
いときに事前にできる投票。投票は、
公示・告示日の翌日から投票日の前日
までできます。ただし、名簿登録地の
市区町村の期日前投票所（青梅市の
場合は教育センター1階）に出向いて行
います。

不在者投票って？

名簿登録地以外の市区町村や入院し
ている病院などとする投票。投票用
紙を封筒に入れて投票します。



選挙の基本原則

* 普通選挙

財産や性別にかかわらず一定
の年齢に達したときに、選挙権や
被選挙権を得ること

* 秘密選挙

選挙人が誰に投票したか、投票
の秘密が守られること

* 平等選挙

性別や社会的身分などによって
差別されることなく、平等に一人
一票であること

* 直接選挙

選挙人が議会の議員や長などの
代表者を直接選ぶこと

投票管理者って？

私たちが選挙のとき、投票所へ行く
と投票所には、投票管理者、投票立会
人（3人）、そのほかに数人の事務従
事者がいます。

投票管理者は、投票所の準備、点検そ
して管理を行います。

投票日当日、最初に来場した有権者
に投票箱の中を見てもらいます。これ
はあらかじめ何も入っていないことの
確認。投票時間中は、来場する有権者
が投票しやすいように場内の管理をし、
投票が終わると投票箱に鍵をかけ、
開票所まで届けて任務完了となり
ます。

投票立会人って？

投票事務の執行に立ち会い、公正に投票が行わ
れるよう監視します。具体的には、投票手続きの立
ち会いや投票箱の送致などを行います。

投票事務従事者

受付、名簿対象、投票用紙交付、庶務などの
役割があり、投票事務の実務を担当します。



小学校体育館での投票の様子



入選した岸田快生さんの作品

市内小学校児童、中学校・高等学校の生徒を対象に、明るい選挙を推し進めるうえに役立つ独創的で、印象深いイメージのポスターを5月から9月までの期間で、募集したところ、市内小学校3校から5点、中学校3校から153点の応募がありました。

コンクールの審査は、青梅市が審査する第一次審査、東京都が審査する第二次審査、そして最終の中央審査(全国)の第三次審査まで行われます。

市では、厳正な審査を行い、青梅市入選15点を決定し、東京都へ9点推薦しました。都内全域から推薦された832点の中から、東京都が第二次審査を行い、優秀賞21点、入選88点および協力校91校が決定しました。青梅市からは、岸田快生さん(吹上中・2年)が

入選しました。また、泉中学校に協力校として感謝状が贈られました。

青梅市入選作品15点は、選挙に対する有権者の自覚を高めるため、平成20年12月1日から11日まで市役所玄関ホールにおいて展示を行いました。

青梅市審査賞(15点)

- 青木 淳(成木小・6年)、松本奈々(成木小・6年)、柳原真由子(吹上中・2年)、阿部あい(吹上中・2年)、岸田快生(吹上中・2年)、土屋亜由美(吹上中・2年)、菅原美菜(吹上中・3年)、堀木聖菜(泉中・2年)、原 健勝(泉中・2年)、長岡史弥(泉中・2年)、上田愛衣(泉中・2年)、齋藤茂美(泉中・2年)、海藤薫乃(泉中・2年)、安西玖美子(泉中・2年)、山崎比花里(泉中・2年)

「コミニティリーダー養成研修」に参加して

協議会副会長

宿 谷 信 之

「財」明るい選挙推進協会」主催による標記研修会(関東甲信越静岡ブロック)が昨年8月5日(火)、長野市で開かれ、東京都の6人の参加者の一人として、青梅市から私が出席させていただいた。

午前は品川区における明推協活動の実態報告があったが、当日の主たる目的は、午後の参加者全員による「地域活動と明るい選挙の連携」をテーマにしたワークショップであった。全64人を8グループに分け、自由な討議を通じて各自が自分の発想をカード化し、それを模造紙に貼って成果とし、そこから何らかの活動の方向性を探ろうとするものである。

熱心な討議により多くの意見がでた。私も大いに、特に若年層対策を中心に意見を述べた。模造紙に貼られたその分野での意見には次のようなものがあつた。

◎投票立会人に20代の人を委嘱できないか

◎地域の大学との連携を強化したい(授業、年間行事に

参加して)

組み入れてもらう) ◎選挙、民主主義教育の重要性を小学校から教えるべきだ ◎PTA活動との連携を強化したい ◎地域活動(催事、自治会等)に組み込めないか(自治会役員ポストに明るい選挙推進委員枠を設けられないか等)

だが、こう書いてみると、どれも言い古された、ありきたりの内容に過ぎないようである。陳腐で貧しい言葉の羅列に私自身が気恥ずかしい。討議のさなかに感じられた、あのふつつつとした、あるいはどろどろとした熱気は、この短文のどこにも窺えない。

そう、議論は言葉にまとめられた瞬間に生気を失う。だから討議の成果は結論を文章にまとめることにあるのではない。真の成果は討議の渦中に身を置き、白熱の議論を体得・感得するところにこそある。あらためて、そのことを強く思う。

明推協活動にも同じことが

言えないだろうか。知識・情報をいかほど積んでも活動の成果には結びつかない。実践、市民の中へ。いやまず身内へ、仲間へ、同僚へ、そして地域へ、社会へ。活動の輪を更に広げる努力が重要であろう。その必要を、私自身あらためて感じる。

編集後記

昨年の後半から百年に一度の不況といわれ、新しい年を迎えました。今年こそよい年になればと願います。

今回の「しろばら」は、大きな選挙を控えた今だからこそ選挙のことを再確認してみようと思ふ。

成人になり、初めて投票機を得る若い人たちははじめ、多くの方々が政治に興味を持ち、「一票の重さ」について考えていただくことを期待したいと思ひます。

《内山》

東京都議会議員選挙
7月12日(日)
投票日

みんなで投票 大切な一票